

— 関係部課にご回覧下さい —

役員	部長	課長	係長	係員

令和5年度

中小企業技術者研修

CAE技術研修 受講案内

期 間 令和5年10月～11月

〈特 色〉

- (1) 講義と実習を通して、構造設計に必要な知識と技術を総合的に習得し、CAEを活用できる技術者の育成を目指します。
- (2) CAEを活用する上で必要となる、材料力学の基礎をはじめ、金属・プラスチックの特性など、構造設計に必要な知識を学びます。
- (3) CAEを用いて設計した小型フックを3Dプリンタで作製し、フックの評価試験と設計値との比較検証を行います。
- (4) 製品設計・開発のプロセスを実際に体験しながら、CAEの活用方法を習得できます。

主 催 名古屋市・(公財)名古屋産業振興公社



※感染症の状況により、中止を含め予定を変更する場合があります。

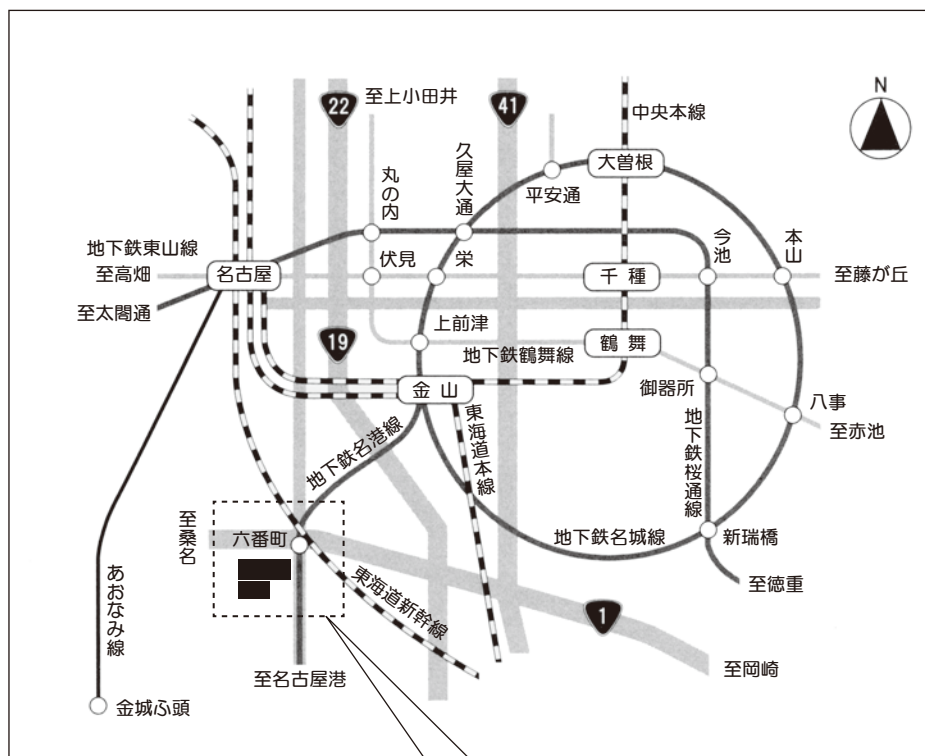
《研修生募集要項》

- 研修の目的** 中小企業者または、その従業員に対し技術に関する基礎理論、応用知識及びこれに関連する必要な研修を実施することにより、中小企業の技術開発力の向上を図り、企業の発展に資することを目的とします。
- 研修期間と時間** 令和5年10月25日～11月22日 毎週水曜日
午前9時30分～午後4時30分（昼1時間休憩）
講義9時間、実習21時間 計30時間
- 研修場所** 名古屋市工業研究所 名古屋市熱田区六番三丁目4-41
- 募集人員** 定員15名（同一企業からのお申し込みは、2名まで）
- 受講料** 36,300円（税込）
- 修了証書** 所定時間数以上出席の受講者には、名古屋市長より修了証書が交付されます。
- 申込方法** 受講希望者は添付の受講申込書、または https://www.nipc.or.jp/kougyou/p_training/doc/gikenshu.doc からダウンロードした申込書フォーム（Word文書）に必要事項を記入の上、郵送・ファックス・電子メール添付のいずれかにより下記までお申込みください。（数日経過しても当方より連絡がない場合は、お手数ですが、ご連絡をお願いいたします。）
本研修の目的に合うと認められる中小企業者からのお申込みは、先着順に受講決定のご連絡をいたします。*大企業からのお申込みについては、中小企業者からの受付状況をふまえ、順次受講の可否のご連絡をいたします。
また、定員に達したときは、締切日を早めることがありますのでご了承ください。
※中小企業基本法に定める中小企業に該当しない企業を大企業とします。
- 〒456-0058 名古屋市熱田区六番三丁目4-41 名古屋市工業研究所内
公益財団法人 名古屋産業振興公社 ものづくり人材育成課
電話〈052〉654-1653 FAX〈052〉661-0158
E-mail:kenshu@nipc.or.jp
- 募集締切日** 令和5年10月4日（水）17時必着
- 受講料の納入** 募集締切後、受講料の請求書をお送りしますので、開講日前日までに
お振込みをご予定ください。
- その他** ○原則、納入された受講料の払戻しはいたしません。
○講義日程等は変更することがあります。
○研修中の事故については、一切責任を負いません。
○本研修を受講された研修生の事業主に対して、**要件を満たす場合**、
「人材開発支援助成金」制度の利用ができます。

— 助成金制度の詳細やお問合わせ先 —
厚生労働省愛知労働局 あいち雇用助成室
TEL 052-688-5758

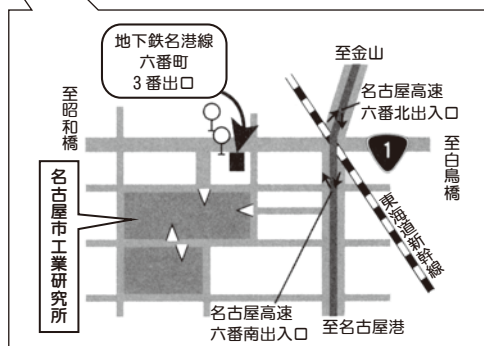
《研修科目と講師》

科 目	月 日	時間	講 師	主 な 内 容
材料力学の基礎	10/25 (水)	3	AN技術士事務所 中 本 昭	CAEを適切に活用するために、製品設計などに必要な構造強度に関わる材料力学の基礎を解説する。
CAE設計実習(1)		3	オートデスク(株) 関 屋 多 門 名古屋市工業研究所 信頼性評価研究室	設計者向けCAEソフトであるFusion 360の操作実習を行う。また、設計仕様に適合するフックの設計を行う。
CAE設計実習(1)	11/1 (水)	6	松下 聖 一 生産システム研究室 岩 間 由 希 也 田 中 智 也	
CAE設計実習(2)	11/8 (水)	6	アルテアエンジニアリング(株) ベッロージ・ピエトロ 名古屋市工業研究所 製品技術研究室 近 藤 光 一 郎 生産システム研究室 田 中 智 也 環境・有機材料研究室 上 野 雄 真	設計者向けコンセプト生成ツールSolid Thinkingの操作実習を行う。また、設計仕様に適合するフックの設計を行う。汎用最適化ツールOpti Structについても紹介する。 ※講義は日本語で行います。
金属材料特性の基礎	11/15 (水)	3	名古屋市工業研究所 金属材料研究室 岡 東 寿 明	金属材料の種類、特性、用途などについて解説する。
プラスチック材料特性の基礎		3	名古屋市工業研究所 環境・有機材料研究室 岡 本 和 明	プラスチック材料の種類、特性、用途などについて解説する。
材料試験実習	11/22 (水)	3	名古屋市工業研究所 生産システム研究室 田 中 智 也 名 倉 あ ず さ 山 本 隆 正 計測技術研究室 谷 口 智	CAEの入力データとして必要な材料試験やデータの整理方法についての実習を行う。
CAEの効果検証		3	AN技術士事務所 中 本 昭 名古屋市工業研究所 生産システム研究室 田 中 智 也 名 倉 あ ず さ 信頼性評価研究室 松 下 聖 一	設計実習で設計し、3Dプリンタで試作したフックの評価試験と、CAEの効果を検証する。また、豊富な設計経験に基づいたCAEの活用方法についても解説する。



交通

- 地下鉄 名港線「六番町」下車3番出口すぐ
- 市バス「六番町」下車すぐ
- 三重交通バス「名鉄バスセンター」3階から乗車し「六番町」で下車すぐ
- 名古屋高速4号東海線「六番北」、「六番南」出口すぐ



連絡先 〒456-0058 名古屋市熱田区六番三丁目4-41 名古屋市工業研究所内
 公益財団法人 名古屋産業振興公社 ものづくり人材育成課
 電話 〈052〉654-1653 FAX 〈052〉661-0158
 E-mail:kenshu@nipc.or.jp

中小企業技術者研修受講申込書

令和 年 月 日

(あて先) (公財)名古屋産業振興公社ものづくり人材育成課 FAX 052-661-0158

令和5年度中小企業技術者研修の【 C A E 技術 研修】受講を申し込みます。

(ふりがな) 社名	URL :		
代表者	役職	氏名	生年月日 年 月 日
本社所在地	〒 TEL() - FAX() -		
資本金	万円	従業員数	名
業種 (下記一覧より記載)		主要製品	

受講者	
所属・役職	ふりがな 氏名
勤務地	〒
連絡先	TEL FAX
担当業務	

連絡責任者	
所属・役職	ふりがな 氏名
請求書等送付先	〒
連絡先	TEL FAX

E-mail :
※よろしければ、関連する研修等のご案内をさせていただきますので、ご記入下さい。

(業種分類一覧)

0001 食料品製造業	0012 なめし革・同製品・毛皮製造業	0023 輸送用機械器具製造業	0034 学術研究, 専門・技術サービス業
0002 飲料・たばこ・飼料製造業	0013 窯業・土石製品製造業	0024 その他製造業	0035 宿泊業, 飲食サービス業
0003 繊維工業	0014 鉄鋼業	0025 農・林・水産業	0036 生活関連サービス業, 娯楽業
0004 木材・木製品製造業(家具を除く)	0015 非鉄金属製造業	0026 鉱業	0037 教育, 学習支援業
0005 家具・装備品製造業	0016 金属製品製造業	0027 建設業	0038 医療, 福祉
0006 パルプ・紙・紙加工品製造業	0017 はん用機械器具製造業	0028 電気・ガス・熱供給・水道業	0039 複合サービス事業
0007 印刷・同関連業	0018 生産用機械器具製造業	0029 情報通信業	0040 サービス業(他に分類されないもの)
0008 化学工業	0019 業務用機械器具製造業	0030 運輸業	0041 公務(他に分類されるものを除く)
0009 石油製品・石炭製品製造業	0020 電子部品・デバイス・電子回路製造業	0031 卸売・小売業	0042 分類不能の産業
0010 プラスチック製品製造業	0021 電気機械器具製造業	0032 金融・保険業	
0011 ゴム製品製造業	0022 情報通信機械器具製造業	0033 不動産業・物品賃貸	

※ご記入頂きました個人情報、研修生への連絡や名古屋市工業研究所及び当社の開催する研修の案内など研修の円滑な運営に必要な範囲内に限り、使用させていただきます。暴力団の活動に利用されることにより当該暴力団の利益になると認められるときは、受講をお断りします。なお、その判断をするに当たっては、暴力団員であるかどうか等について、愛知県警察本部長の意見を聴くことがあります。